

「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。  
大分県内の農林水産業の中から選りすぐりの話題を大分県拠点からお届けします。

## 「大分☆農・カーボンプロジェクト」第3回勉強会開催 # 環境に優しい有機農業の発展のため、

## 集荷、物流のネットワーク構築で販路拡大を！



今回も、生産者をはじめ、農林水産分野以外の事業者、消費者団体、マスコミ、自治体等、多くの方にご出席いただきました

「大分☆農・カーボンプロジェクト」の第3回の勉強会は、「有機農産物の物流」をテーマに、6月17日に開催しました。

臼杵市で有機農業に取り組みされている(株)ohana本舗の赤嶺社長の基調講演では、有機農業は少量多品目生産で栽培に多くの時間がかかるため低生産性がネックとなっていて、販路開拓が後手に回っている現状であるとの説明がありました。その状況を打開するため県内集荷のルートを作ることで出荷量のとりまとめを行い、都市部への物流を構築して大規模な販路確保を図る計画が述べられました。現状、集荷、物流の問題に特効薬的なものはなく、今後もプロジェクトの大きなテーマとして続けます。

また、少量多品目の有機農産物の物流、販路確保はセットで解決されるべきものですが、そのベースとして環境に優しい有機農業について消費者に理解してもらうことが必要です。

今回の勉強会にも、コープおおいた、グリーンコープといった消費者団体にもご参加いただき、今後も引き続き一緒に考えていくこととしています。



ohana本舗赤嶺社長の基調講演



コープおおいた吉浪統括マネージャーの取組発表

勉強会に先立ち、6月15日に宮崎九州農政局長がohana本舗を訪問しました。赤嶺社長から医薬品関係の会社が医食同源の考え方の延長で農業参入した経緯や、今回の勉強会で発表いただいた有機農産物の集荷、物流、販売の問題点について説明していただきました。



宮崎局長に説明する赤嶺社長(左)

また、6月16日には全農おおいた青果センターに石橋地方参事官が出向きました。

大分県下では慣行農業作物においても少量多品目生産の状況にあったことから、白ねぎ、ピーマンなどを集中支援作物として生産量を増やし、令和元年に青果センターを設置して青果の一元集約、輸送効率上昇につなげた経緯などをお聞きしました。



全農おおいた青果センターの皆さん、お世話になりました

プロジェクトのフェイスブックにお立ち寄りください！



## # 農業者との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。

### 「ドローン」をより実用的に使うために！ (3年間の水稲作省力化試験)

(株) Sami Sami ラボ (中津市)  
令和4年5月23日



中津市でドローンの製造・販売を行なう「Sami Sami ラボ」です。水稲栽培における播種、除草、防除、追肥等の作業をドローンで行う実証試験を始めました。今日は宇佐市安心院町の田んぼで種粃を空中散布しました。今後、県北地域の3ヶ所で3年にわたり、色々な作業を試験します。ドローンを使えば特定の農作業は圧倒的に楽になります。農家の皆様の高齢化、労働力不足に必ず役に立つと考えています。その他にも現行と比べて環境に優しい農薬・肥料の活用や、肝心の収益性の計算など意欲的に取り組む予定です。



### お茶でホッとする時間を楽しんでほしい

自家製紅茶屋やまどり (杵築市)  
令和4年5月25日



杵築市で祖父の代から60年以上、お茶の生産・加工を行っています。緑茶の他にも地域の高熊山から命名した「高熊紅茶」を製造しています。県内産に限定したフレーバー（ローズ、ラベンダー、ゆず、生姜など）をブレンドしたフレーバーティーも好評です。地域振興につながるイベントなどに出向いて、お茶の実演販売をしていましたが、コロナ禍でイベント自体が減ったため、キッチンカーを導入して、駐車場などで実演販売をしています。おかげで普及・販売の幅が広がりました。これからも地域に愛される生活に根ざしたお茶を作り続け、お茶でホッとする時間や空間を提供していきたいです。



### 原木しいたけ栽培で資源循環に貢献し 自然を守り続けたい

くにさき半島 山や (国東市)  
令和4年6月13日



国東市で原木しいたけと菌床きくらげの生産を行っています。この地域は、2013年5月に「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」として世界農業遺産に登録されました。しいたけ栽培はクヌギの伐採と再生により森林の新陳代謝を促し、水源・里山の保全に繋がっています。また、古いホダ木を粉碎した肥化した培養土「廃ホダ土」も販売しています。今後もしいたけ栽培を行うことで、山を守り海まで続く循環型農林業に貢献していきたいです。



【発行元】九州農政局大分県拠点地方参事官室  
【連絡先】〒870-0047 大分市中島西1-2-28 TEL 097-532-6131

大分県拠点HPではこの他の意見交換の様子もご覧いただけます。

大分 農政

